

行政へのチェック機能を十分發揮し 活力ある町づくりをめざす

横芝町議会議長 伊藤齊紀



あけましておめでとうございます。

平成十年の新春を迎え、町民の皆様方に謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町議会も、新しい年をスター

トさせることができました。

昨年は、相次ぐ金融機関の破たん、株の暴落等、わが国の経済は退つ引きならぬ局面に追い詰められた感があります。景気浮揚を期待していた私達にとって、大きなショックでありました。総額五百兆円を越えるという、地方財政をも合わせた国の借金を減らす道をつけることが早急に求められています。

このような状況の中にも明るいニュースもありました。日本代表サッカーチームのフランスでのワールドカップへの出場決定。土井宇宙飛行士が、宇宙を漂流する衛星をつかまえて、固定する作業を成功させるなど日本国民を勇気づけ、また、世界中の人々に夢を与えてくれました。

さて、本年は、横芝町第三次基本計画を策定して二年目を迎えますが、現下の経済情勢から歳入の増加は見込めず、従つて厳しい財政運営の中での事業推進になると思いますが、継続中の事業も含めて、住民生活に最も関係の深い事業は、強く推進しなければなりません。生活環

境の整備、福祉の充実はきわめて大切な事業であります。当町においては、福祉センターの建設、農業集落排水事業もスター

トし、加えて北清水地区ほ場整備事業、大総ライスセンターの建設も着々と進行しております。

また、教育関係では、中学校建設候補地の問題を始め、町民の皆様のご要望は山積しております。

『二十一世紀になう子供たちに誇れる町づくり、ふるさとづくり』をしなければならないと思います。

我が町も、成田国際空港との共生時代を迎えており、きわめて重要な年であります。時代は、住民主導による全国的な市町村合併や、中核都市づくりへと向かって大きく変わりつつあります。

しかし、日本経済が大きな転換期を迎えた今日、地方財政にとって、今後は少なからずこうした経済の影響を受け、これまで以上に厳しい財政運営を余儀なくされる事になりますが、我々も議会の立場を堅持し、これまで議会の立場を堅持し、チエック機能を十分發揮して、活力ある町づくりをめざし努力致しますので、今後とも議会に対し

ただいておりますが、平成9年度、平成10年度事業で行い、本年収穫分から供用を図ろうとしているものでございます。

地方財政の大変厳しい中ではあります。が、目前に控えた21世紀を目指し、バランスのとれた各事業の推進を図つてまいります。地方財政の大変厳しい中ではあります。が、目前に控えた21世紀を目指し、バランスのとれた各事業の推進を図つてまいります。

また、北清水地区基盤整備事業については、県営事業の中で実施をしていただきますが、既に昨年12月12日に起工式も行われ、平成9年度の中で面工事を行い、平成13年度の完成を目指して本年度も用排水路、用水機場等の整備が行われる予定です。

計画いたしております集会施設全てが完了することになります。

現在、各地区のコミュニティ施設としては、共同利用施設12館、集会場施設29館ですが、それの地域において、学習の場や集会、あるいはコミュニティーション作りの場として十分ご活用いただければ幸いと存じます。

これまでの地域において、学習の場や集会、あるいはコミュニティーション作りの場として十分ご活用いただければ幸いと存じます。また、現在中学校で教育実習をいたしておりますコンピューター機器の設置であります。ですが、平成10年度に台数を20台ほど増やし、時代に即応できる学校教育の保持に努めてまいります。また、現在中学校で

お年も引き続いて委員会で十分ご意見等を賜りながら事業の推進を図つてまいりたいと考えております。また、現在中学校で教育実習をいたしておりますコンピューター機器の設置であります。ですが、平成10年度に台数を20台ほど増やし、時代に即応できる学校教育の保持に努めてまいります。また、現在中学校で

学校建設事業等